

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス パリティ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1	日々、児童の状況や活動の内容に応じて配置を変えるなど支援スペースを工夫しています。	建物が狭いと感じるので近隣に引越しを検討しています。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	0	男女の職員で役割分担をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	児童の活動スペースに障害物になるものがないか日々、確認しています。	段差がないスペースだが、コンセント類や床に物を置かないように気をつけていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	気づいた点は報告している。	今後も職員間で連携を深めていきます。振り返りを大事にしながによりよい支援を目指します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0		アンケートを実施に加え保護者様からいただく日々の意見を受け止め、業務改善につなげていきたいと思えます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0		ホームページに掲載し公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	0		今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	事例検討会や弁護士等幅広い講師を招いた研修を実施。	年に4~5回程度、定期的に社内研修をおこない資質向上に努めています。福祉分野だけでなく、法律やリーダーシップに関する研修等多角的な視点を持ち学んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		アセスメントをもとに計画を作成しています。定期的に再アセスメントおこなっています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0		定期的にアセスメントし直し状況に合わせた支援をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0		ミーティングの時間を使って職員で意見を出し合い、プログラムの立案を行なっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	将来児童が就労や自立を意識した活動を考案している。インターネットや書籍等から新たなアイデアを収集している。	職員どうして意見や案を出し合い、固定化されないように気をつけながら予定を組んでいる。今後も新たな活動を取り入れる必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0	土曜日や休業日には体験型のイベントを取り入れるようにしている。	活動時間や時期に応じて体験活動や野外活動を増やし、個別や集団での活動内容を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		月の予定を組みながら、児童の状況に応じて活動内容は臨機応変に対応しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0		当日の児童の状況を保護者に確認を取りながら支援の内容や役割分担をおこなっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	0		支援終了後に振り返りを行い、次回に向けてどうしていくかを話し合っています。十分に時間が取れないことがあるので状況によってその日のうちに行えない場合は翌日に必ずおこなうようにしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0		その日あった出来事は忘れないうちに記録を残すようにしています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0		スタッフ全員で定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しをおこなっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	0		児童の状況に応じ複数組み合わせています。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0		児童発達支援管理責任者を中心としながら児童と関わり深い関係機関が集まり担当者会議を実施しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	0		学校行事による下校時間の変更等対応できるよう密に連絡を取れるようにしていきたい。送迎時引き継ぎの際に情報共有しています。その他、お便り、学校のホームページ等も確認しながらスムーズに利用できるように連絡調整をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	0		現在は医療的ケア児の利用はないが、今後利用につながった場合は受け入れる前に事前に体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	1		相談員を中心に情報共有と相互理解の場を設定し参加しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	0		卒業前に支援会議を開き共有。卒業の前に統一して支援会議の場を設けていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	0		事例検討などおこない専門家からの助言をいただき、支援方法に取り入れています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	1		系列店舗の児童との交流を持つことはできている。感染症への対策を十分に行なった上で徐々に地域の児童との関わりを増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3	2		開催時期を確認し今後参加できるよう努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0		連絡帳だけでなく状況に応じて対面や電話、LINE等でお伝えしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1		保護者向け勉強会を開催した。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0		契約時に説明をおこなっています。随時疑問があればお答えできるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0		今後も相談を受ける際は傾聴の姿勢を忘れず、適切な対応を心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	1		就労支援事業所の見学等と同様に保護者同士の連携を支援。今後日程調整を行いながら回数を増やしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0		今後も迅速な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0		毎月お便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0		保護者から同意を得た上で月報やブログの写真掲載等している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		筆談や手話など交えてコミュニケーションを取っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	0		ゴミ拾いボランティア実施し地域のかたと挨拶等を交わしている。
						児童とともに地域のゴミ拾いボランティア等を行なっている。その他、地域にあるお店や事業所に見学等を積極的に行なっている。今後も継続していきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	0		複数のマニュアルを職員間で共有している。保護者へマニュアルを配布し周知したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0		年に2回実施しています。実施月を設定しています。今後もあらゆる災害を想定した避難訓練を実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		年に2回実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	0		身体拘束は行っていない。今後行うことがあれば保護者と十分に相談した上で計画書に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	0		食物アレルギーに関して定期的に保護者に調査依頼をおこなっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0		作成し、気づいたことがあれば日々振り返りをおこなっている。